

あかるく
なかよく
たくましく



学校だより

武岡台養護学校平成28年3月2日(水)

学校ホームページアドレス
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/Takeokadai-H/top.html>

～「my財布」携帯のすすめ～

教頭 濱崎 信一

平成27年度の1年間はいかがだったでしょうか。大人が感じる1年間の経過の早さに比べ、成長のプロセスの中で子供が感じる日々の中身の濃さは、大人の比ではないと言われています。おそらく、子供たちが、見たこと、聞いたこと、経験したことは、どれもその時々で新鮮さにあふれていたことでしょう。経験は何にも代え難い「学び」となります。

ところで、修学旅行や校外学習の多くで、買い物や食事を通して「金銭の取扱い」に取り組んでいます。日常生活において「my財布」の携帯はできているのでしょうか。買い物において「金種が判断できる」「価格に応じたお金が分かる」とは別に、片手には商品の入った袋を持ったまま「財布の中から取り出したい金種を見つけて取り出す」「レシートとお金を分けて入れる」などがうまくできないことがありました。中には、財布の仕切りがたくさんあるために小銭があちこちに入っていて取り出すのに一苦労した場面も見られました。「分かる」「理解する」とは別に、経験の積み重ねに負う部分も大きいのではないかと考えます。金種がまだ分からなければ、「支払いお願いします」のカードと一緒に財布と商品をレジに出して店員にお願いすることや、プリペイドカードを使って支払う方法も考えられます。機能的に使いやすい財布を準備し、日頃から買い物(外出)の際はmy財布を携帯させてみてはいかがでしょうか。子供たちが今持っているスキルを使って始められる取組と一緒に考えていきましょう。



～卒業に向けて～

今年も3月に小・中・高の卒業式が行われます。卒業を前に各学部での思い出やこれからに向けて、卒業学年の主任からのメッセージを紹介します。

< 小学部 >

君たちと出会い1～2年の月日が流れた。おこりんぼで泣き虫で、マイペースであどけなさの残る君たち。毎日がドラマチック。朝の会から腹を抱えて笑ったね。叱られて涙を堪えるその姿は、芯の強さを感じたよ。みんなそろっての授業は、みんな『笑顔』。本当に楽しかったね。そして、6年生になり、運動会の練習では、汗ばみながら口元はキリリと引き締まり、プールでは、くしゃくしゃになって楽しみ、修学旅行では、キラキラ輝いたその瞳で日南の海岸から昇る朝日を見つめ、友達と溶け込む強い絆が生まれたね。学習発表会では、よさこいの黒い衣装に身を包んだ、「やあー」の掛け声は体育館一杯に響いて、達成感が体中からあふれていたよ。そして卒業制作に感謝の気持ちを込めて取り組む姿は、実に頼もしい。君たちは、記憶に残る素晴らしい6年生として確かな足跡を刻んだ。

未来は決して平坦じゃないかもしれないけど、どんな時でも決してくじけず根をあげないその『笑顔』と『優しさ』と『元気』が宝物だ。卒業の寂しさは胸にしまい、未来への期待に胸膨らませて飛び立って自分らしく生きていこう。感謝の気持ちを忘れないで・・・本当にありがとう。感動をありがとう。

(小学部6年学年主任 楠元 博文)



< 中学部 >

中学部を卒業する19人のみなさん、卒業おめでとうございます。皆さんが中学部に入学してからもうすぐ3年が経ちますね。卒業文集に載せる写真を選びながら、「あんなことがあったな」と皆さんと過ごした時間を懐かしく振り返るとともに、身も心も大きく成長した皆さんの姿に驚いています。中学部に入学した当時の皆さんは、まだあどけなさの残るかわいらしい顔をしていました。その顔が、3年間でだんだんとたくましい顔つきへと変わってきました。中学部では、作業学習や県ダンス発表会など、新しい学習や初めての活動にも積極的に取り組みました。運動会や学習発表会では、繰り返しの練習にも弱音を吐くことなく、一人一人が最後まで自分の役割を果たし、会を盛り上げてくれました。宿泊学習や修学旅行で、家族のもとを離れ友達と一緒に過ごした時間は、何ものにも代え難い大切な思い出になりましたね。

汗をいっぱいかきながら全力で取り組むみなさんの姿は本当に素晴らしかったです。みなさんに出会えたこと、同じ時間を過ごせたことを大変うれしく思っています。みなさんには、これまでも、そしてこれからも、ずっと応援してくれる人がたくさんそばにいることを忘れないでください。

アルバムの中のみなさんの写真は、どれも素敵ですが、やっぱり笑っている顔が一番好きです。みなさんがこれからも笑顔で過ごせることを心から願っています。

(中学部3年学年主任 神之蘭 康博)



< 高等部 >

高等部3年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。

期待と不安を胸に本校に入学してから卒業まで、短い人で3年間、長い人で12年間、いろいろなことがありましたね。運動会や学習発表会に向けて毎日練習を頑張ったこと、初めての現場実習に緊張したこと、楽しかった修学旅行、武養祭に向けて作業学習で製品作りを頑張ったことなど、あげればきりがありませんが、それぞれの場面で一人一人が輝いていました。楽しかったこと、うれしかったこと、辛かったこと、時には涙を流したこともあるかもしれませんが、その経験の一つ一つが積み重ねられて、みなさんの成長があります。そして、その成長の陰には家族の深い愛情があることも忘れないでください。これから大人になるみなさん、自分を大切に、そして周りのみんなを大切にできる人になってほしいです。

4月からは、学校を離れてそれぞれ違う道に進むこととなります。新しい環境に不安もあると思いますが、学校生活で学んだことを土台として、社会人になっても自分らしさと笑顔を忘れずに「あかるく・なかよく・たくましく」頑張ってください！これからもみんなのことを応援しています！

(高等部3年学年主任 神田 美千代)



